

海外教室 Newsletter® August 8・9, 2013

お昼すぎにみんなで6つのファミリーのキッチンへと散っていきました。前日から食材の量の間違いなどもあったので、今年はどことなく料理に不安がつきまとう年でしたが(笑)、集合時間になって集まってみるとなかなかの完成度。ところが味見をしてみると焼肉はタレを渡していたのに味が付けていなかったり、お好み焼きも時間がなくて指示に従ってなかったり…。そこから手も加え最終的には美味しいものが出来上がりました。生徒たちがそれぞれ説明をしながらファミリーにおかずを渡します。みんな「美味しい!」と言って食べてくれました。「レシピがほしい」との注文が入るほど気に入ってくれた人も!



ファミリーがご飯を取り終ると今度は生徒たち。心を込めて作ったので美味しさも格別! その後は何日も練習してきた寸劇(どういこと? という声も聞こえてきましたが、ウケました!)や「女々しくて」の歌とダンス、そして心を込めて“Leaving on a Jet Plane”を歌いました。ファミリーからも完成度の高さに大きな拍手が!

みんなに楽しんでもらった後はいよいよプレゼントである「ありがとう」のメッセージ入りの額入り写真をファミリーに手渡します。感謝の気持ちを伝え、家族写真をファミリーごとに撮らせてもらいました。泣きそうな顔も最高の笑顔も、表現の仕方は別々ですが、みんなとても良い表情をしています。そしてそれはファミリーも同じ。生徒たちもファミリーからT-shirtsを受け取りました。このT-shirt、Lake Tahoeに行ったときに撮った集合写真が前に、そして後ろにはそれぞれのファミリーの名が入っているのです。本当にファミリーの一員になった実感がわいてみんな嬉しそう。あちこちでファミリーや友人と記念撮影をしていました。



9日は11時くらいから Rayna 先生の家で Pool Party. California のこの地域では庭にプールがあることは珍しくありませんが、このプールは特別大きめ。28人(S.Aさんが欠席でした)の生徒に加えファミリーメンバー有志が入っても結構な広さ! 一番深いところはなんと3.6mもあって生徒たちも大喜びで叫びながら飛び込んだり潜ったりして遊んでいました。

今回の海外教室は最後のさいごまでファミリーが決まるかどうか



心配もしましたが、カリフォルニアで過ごした3週間はやはり掛け替えのないものでした。いつもそこには生徒たちを愛するファミリーがいてくれました。もちろん全てが上手くいったわけではありません。シャワーの時間が長くて困ると苦情を言われたことも、何をしてあげても感謝の言葉が聞こえてこない、と泣かれたこともありました。でもファミリーたちは課題の有無にかかわらず一人ひとりの生徒のことを本当に大切にしてくれ、そして家族として受け入れてくれました。

今回の海外教室は最後のさいごまでファミリーが決まるかどうか



明日1日フリーの日を挟むと、もうこの Orangevale を出発です。これをお別れにせず「またね」にしてほしいと切に祈ります。3週間一緒に過ごし、ともに築き上げたこの関係はこれで終わるべきものではありません。メールや手紙、電話などでいつまでも繋がっていてほしい関係なのです。3週間のこの「授業」が彼らにとってこれからもっと意味の深いものになりますように! この長い期間、お支えありがとうございました! (Mas)

